

一般質問



西川 英伸 議員
(市民クラブ)



■ 臨時災害放送局の開局について

質

防災行政無線では行き届きにくい内容を補完する情報源としても、臨時災害放送局は有効な手段として機能すると思われるが、開局に向けた市の意向を伺う。

答

今回の震災において、主にインターネットを活用した情報発信では、公式ホームページと公式LINE、ケーブルテレビなどおと連動している「インフォメールななお」を中心に、物資の支援や給水情報等の特に緊急性が高い情報については、パソコンやスマホが見られない状況の方々への情報提供として、防災無線放送でも情報発信を行った。インターネット等で情報を取得できない方々への対応として、紙媒体である広報ななお号外で被災者支援制度の案内チラシを地元紙の朝刊の折り込み等で配布した。

ラジオについては、コミュニティFMであるラジオななおと防災協定を結んでおり、今回の災害においても「聞いてなるほど七尾だより」の番組内において、市からの震災情報を放送してきたところである。こうした取り組みが市民への情報を行き届かせる手段として機能したかどうか今後しっかり検証していきたい。その検証を通じ、FM波による情報発信も極めて有効であるため、今後の災害においてラジオななおとの防災協定についても、内容や必要な見直しの中で、どのようなことができるのか協議することも考えていきたい。

市内小学校の議会見学会を実施



七尾市議会では、市内小学校6年生を対象にした「七尾市議会見学会」を実施しています。9月30日に石崎小学校の6年生が、本会議体験や議会の素朴な疑問に議員が直接回答を行いました。今後も、子どもたちに議会への関心を持っていただくとともに、市民の皆さんに「わかりやすい、開かれた」市議会を目指して取り組んで参ります。

石崎小学校6年生 ^{もいた} 盛田 ^{なみ} 那心 さん

たくさんの議員さんの数でおどろきました。七尾市民の利益があるように、ちゃんと考えられているので、すごいなと思いました。

石崎小学校6年生 ^{おおはま} 大濱 ^{ゆうり} 佑理 くん

議員の人達は、毎回この様な事をしているのが分かり、大変だなと感じました。